

# 「意味のあるログ活用とは何か」

～ログ活用からはじめる、情報セキュリティ対策のポイントを学ぶ!～

## ～システム監査技術者が斬る 企業にとってのログの位置づけとは～

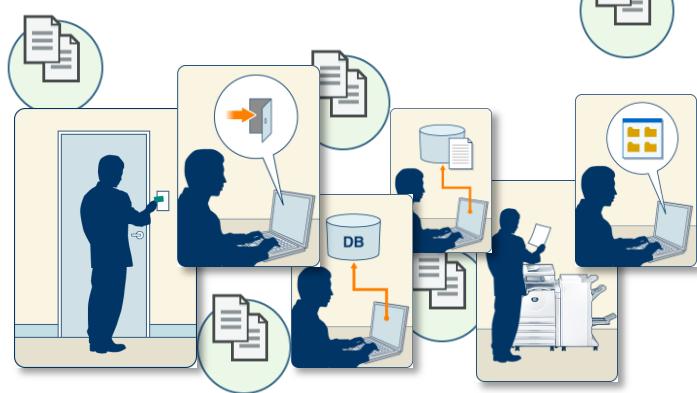
情報セキュリティにおけるログの扱いについては、そのほとんどの場合、とりあえず溜めておいて何かあった時だけ頼りにする、という扱いを受けることがあります。しかし、社内システムやハード機器から出力されるログを、いざ頼りにしようとしても、どう見ればよいのか分からない、採集したログの種類がバラバラで、追跡することができない、出力されるレポートを見ても何が起きているかわからない…など、情報量が膨大なゆえに、実際に活用するのが難しいのが現状ではないでしょうか。

そこで、本セミナーでは、ログを企業活動に活かすポイントをご紹介いたします。基調講演として、システム監査技術者であり、多くの企業の情報システム監査の経験を持つ、川辺良和氏に、「情報セキュリティにおけるログ管理の位置づけ」についてご講演いただきます。

ログは「取ってある」から「活用する」時代へ…  
本セミナーを是非、お役立てください。

開催日  
8/25(水)

14:00～16:00  
(開場13:30)



## 開催概要

■ 日 時	2010年8月25日 (水) 14:00～16:00 (13:30受付開始)
■ 会 場	株式会社アビタス内 セミナールーム (日本橋フロントビル)
■ 参 加 費	無料
■ 定 員	40名 (定員になり次第締め切りとさせていただきます)

## プログラム

※講演内容は予告なしに変更される場合がございます。予めご了承ください。

14:00-14:50 Session.1	<p><b>【基調講演】「情報セキュリティにおけるログ管理の位置づけ」</b></p> <p>個人情報漏洩事例と訴訟リスクをプロローグとして、情報セキュリティの基本的考え方、アカウンタビリティとしてのログの意義、具体的な管理策としてのログ管理について、IT統制と情報セキュリティに精通するシステム監査人川辺良和氏よりご講演をいただきます。</p> <p>また、ISMSとプライバシーマークの相違、効率的なマネジメントシステム構築等も実例を交えて詳しく解説いたします。</p>	<p>講師：川辺良和氏 有限会社インターニューディオ代表取締役 特種・システム監査技術者、ISMS主任審査員、会計システム専門監査人 ■著書：システム監査基準解説書（共著：経済産業省監修）、プライバシーマーク制度監査ガイドライン（共著：JIPDEC）</p>
15:00-16:00 Session.2	<p><b>「結局、ログはどう使われているのか？～目指すべきログ管理の姿とは～」</b></p> <p>～統合ログ管理システム「Logstorage」のご紹介～</p> <p>情報セキュリティ、内部統制等への対策の一つとしてさまざまなログが取得・保管されるようになりましたが、そのログを有効に活用できているケースは実は多くありません。</p> <p>本セミナーでは、こうした現状と、目指すべきログ管理の間にどのようなギャップがあり、それをどのように埋めるべきなのか、さまざまな事例を基にご紹介し、情報セキュリティ対策に有効なノウハウをご提供します。</p>	<p>講師：稻村 大介氏 インフォサイエンス株式会社 プロダクト事業部</p>

# 情報セキュリティ対策セミナー参加申込書

2010.8.25

フリガナ	フリガナ
貴社名	お名前
ご所属	お役職
ご住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	業種

FAXでのお申込みは

03-5282-5433

弊社ホームページからのお申込みは

<http://www.new-technology.co.jp/seminar/100825/>

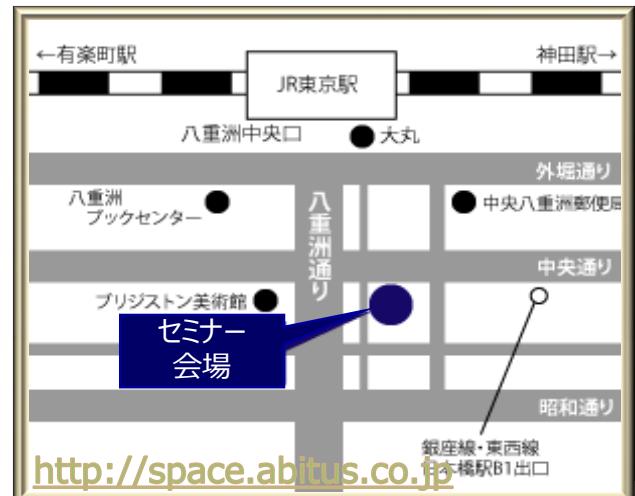
## ▶ セミナー会場

会場： 株式会社アビタス内 セミナールーム

住所： 東京都中央区日本橋3-6-2

日本橋フロントビル4F

- JR「東京」駅八重洲口徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅B1出口徒歩2分



＜お客様個人情報の取り扱いは、下記をご覧ください＞

お客様情報の利用目的： お客様に対して、株式会社ニューテクノロジーが主催または参加するセミナー、展示会、製品などに関する情報を電子メールまたは送付物にてご案内する際、お客様の個人情報を利用させて頂きます。

本セミナーに関する問合せ先



株式会社ニューテクノロジー  
営業本部マーケティング部

東京都千代田区神田駿河台一丁目2番地5 駿河台ビル4階  
TEL:03-5282-5432  
Mail:info@new-technology.co.jp

主催：株式会社ニューテクノロジー  
　　アイ・ティ・エル株式会社  
協賛：インフォサイエンス株式会社



Infoscience